

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設	評価対象年度	平成28年度
事業者名	事業者名 アクティオ株式会社 代表者名 代表取締役 鈴木 悟 住 所 東京都目黒区下目黒1-1-11	評価者	生涯学習支援課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	宮前区役所生涯学習支援課

2. 事業実績

利用実績	平成28年度 利用実績 ()内は27年度						地域図書貸出冊数 H28年度 104,812冊 H27年度 107,588冊 H26年度 97,889冊 H25年度 79,606冊 H24年度 79,939冊 市立図書受け渡し冊数 H28年度 31,023冊 H27年度 31,041冊 H26年度 30,056冊 H25年度 28,528冊 H24年度 27,489冊																																						
		集会室(有料)	和室教養室(有料)	学習室(有料)	グループ室	グループ学習室	フリースペース・ギャラリー																																						
	利用人数(人)	24,734(25,969)	14,391(11,406)	22,906(23,990)	5,779(4,763)	9,273(8,786)	7,999(7,306)																																						
利用件数(件)	822(844)	1,423(1,243)	1,790(1,780)	886(722)	4,770(4,652)	931(808)																																							
利用率(%)	79.0(80.8%)	45.6(39.7%)	57.3(56.8%)	32.0(25.9%)	86.2(83.5%)	67.3(58.0%)																																							
	来館者総数	H28	H27	増減																																									
		85,082人	82,220人	3.5%増																																									
収支実績	<table border="1"> <tr> <th>収入の部 科目</th> <th>予算額 (①)</th> <th>決算額 (②)</th> <th>増減額(②-①)</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>46,129,140</td> <td>46,129,140</td> <td>0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>4,700,000</td> <td>4,900,620</td> <td>200,620</td> <td colspan="2">学習室・教養室等施設提供の増</td> </tr> <tr> <td>雑収入(印刷、自販機)</td> <td>650,000</td> <td>809,389</td> <td>159,389</td> <td colspan="2">印刷代、自販機手数料の増</td> </tr> <tr> <td>その他(受講料等)</td> <td>3,400,000</td> <td>3,307,250</td> <td>△ 92,750</td> <td colspan="2">講座・教室開催の増</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54,879,140</td> <td>55,146,399</td> <td>267,259</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						収入の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	摘要		指定管理委託料	46,129,140	46,129,140	0			利用料金収入	4,700,000	4,900,620	200,620	学習室・教養室等施設提供の増		雑収入(印刷、自販機)	650,000	809,389	159,389	印刷代、自販機手数料の増		その他(受講料等)	3,400,000	3,307,250	△ 92,750	講座・教室開催の増		合計	54,879,140	55,146,399	267,259					
	収入の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	摘要																																								
指定管理委託料	46,129,140	46,129,140	0																																										
利用料金収入	4,700,000	4,900,620	200,620	学習室・教養室等施設提供の増																																									
雑収入(印刷、自販機)	650,000	809,389	159,389	印刷代、自販機手数料の増																																									
その他(受講料等)	3,400,000	3,307,250	△ 92,750	講座・教室開催の増																																									
合計	54,879,140	55,146,399	267,259																																										
	<table border="1"> <tr> <th>支出の部 科目</th> <th>予算額 (①)</th> <th>決算額 (②)</th> <th>増減額(②-①)</th> <th>主な内訳予算</th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">運営管理費</td> <td rowspan="5">54,879,140</td> <td rowspan="5">52,692,082</td> <td rowspan="5">△ 2,187,058</td> <td>人件費</td> <td>26,000,000</td> <td>25,468,132</td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>3,300,000</td> <td>2,980,618</td> </tr> <tr> <td>消耗品・図書等</td> <td>2,400,000</td> <td>2,603,222</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>7,400,000</td> <td>7,202,714</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>4,300,000</td> <td>3,601,399</td> </tr> <tr> <td>租税公課</td> <td>2,000,000</td> <td>1,960,034</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>0</td> <td>2,454,317</td> <td>2,454,317</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						支出の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	主な内訳予算	予算額	決算額	運営管理費	54,879,140	52,692,082	△ 2,187,058	人件費	26,000,000	25,468,132	諸謝金	3,300,000	2,980,618	消耗品・図書等	2,400,000	2,603,222	委託費	7,400,000	7,202,714	光熱水費	4,300,000	3,601,399	租税公課	2,000,000	1,960,034				収支差額	0	2,454,317	2,454,317			
支出の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	主な内訳予算	予算額	決算額																																							
運営管理費	54,879,140	52,692,082	△ 2,187,058	人件費	26,000,000	25,468,132																																							
				諸謝金	3,300,000	2,980,618																																							
				消耗品・図書等	2,400,000	2,603,222																																							
				委託費	7,400,000	7,202,714																																							
				光熱水費	4,300,000	3,601,399																																							
租税公課	2,000,000	1,960,034																																											
収支差額	0	2,454,317	2,454,317																																										
サービス向上の取組	<p>1 駐車場利用者への利便性向上 駐車場利用については、貸館利用者の雇用物品等の搬出入に、事前予約による駐車スペース確保を行って来たが、図書室の利用者等からの要望を踏まえ、この方法から、より多くの来館者が利用し易い先着順の駐車方法に変更した。また、道路での入庫待ち車両による渋滞防止や安全対策として、満空車表示機を入口に設置し、館全体の利便性の向上を図った。</p> <p>2 主催事業予定表の作成 施設主催事業の広報チラシについて、個別に作成を行っていたが、利用者により早期に分かり易く、講座・イベント情報をお知らせし、参加を促すために、新たに2か月単位の主催事業スケジュールカレンダーを作成し掲示を開始した。</p> <p>3 地域図書室蔵書一覧の作成 市立図書館の蔵書は、自由に利用者が図書システムにより確認ができるが、地域図書室が所有する蔵書については、その都度図書室スタッフに確認しなければならなかった。このことから、自由に利用者が閲覧可能な蔵書一覧を作成・配置し、利便性の向上を図った。</p>																																												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、生涯学習支援施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	利用者満足度	利用者満足度調査を実施し、調査結果を踏まえた満足度向上のための具体的な取り組みが行われているか。	5	4(0.8)	4
総合的な運営状況	<p>総合的な運営の評価 ○設置目的に準じた「4つの役割と機能」の柱についての評価 生涯学習：年間63事業を実施、新規事業として音楽コンサート、認知症講座等を行い、事業参加者は約17,500人(前年度比13%増)となった。 読書支援：地域密着型の運営に努め、貸出し数は前年度比2.6%減であるが、地域の小学校等を訪問した結果、図書カード年間発行枚数は前年度比3.8%増となった。 市民活動支援：市民活動支援コーナー利用者連絡会の事務局として、登録団体の支援を行い、また、新たな市民活動6団体の育成支援を行った。 コミュニティ交流：新規事業の「アリーノ土曜学校」を開校(年3回)し、参加者同士の交流の場を新たに作ったほか、前年度から引き続き、朗読サロン、おしゃべりサロンについても交流の場として提供を行った。 ○広報、地域課題対応についての評価 広報：アリーノニュースやホームページを始め、市政だより、タウンニュース、日刊紙の紙面を通じた情報提供を積極的に行ったほか、新たに2か月単位の主催事業スケジュールカレンダーを作成し、広報の充実を行った。 地域課題対応：地域課題の取り組みの一つとした「こども食堂」について、平成29年度実施に向けた準備を行った。具体的には、ボランティアの募集・育成、食材提供者を募り、利用要領を作成した。(平成29年5月から実施) ○モニタリングについての評価 毎月の定例会において、事業報告(事業実績、貸館利用状況、図書利用状況、施設管理状況)を適切に行った。また、年1回の利用者アンケートを実施した結果、再利用希望者が、図書室は81%、貸館は70%となった。</p> <p>以上、設置目的に準じた役割と機能については、積極的に新規事業を開催するなど、利用者ニーズに沿った内容が事業参加者数等に反映されていると評価できる。また、再利用希望率も高く、満足度としての評価も高い。</p> <p>【評価点4以上(加点)の項目別評価】 事業成果：事業報告、実際の利用者からの意見など、モニタリングを最大限に利用し、成果の測定・検証を行っている。その内容については、毎月の定例会において報告を行い、事業へ反映した結果、事業参加者の増加につながったことを評価した。 利用促進：利用率の低い和室教養室については、利用申込みを待つのではなく、各部屋の用途に合った事業を積極的に実施した。例えば、調理室については、塩麹料理やパン作り教室などの利用者の要望に合わせて講座を実施したことを評価した。 利用者満足度：満足度調査については、図書室、貸館、グループ学習室、支援コーナーの場所別で行われ、特筆すべきは、図書室での接客については、満足及びやや満足の合計が90%と高く、他の場所でも70%以上となっている。これは、施設利用者または、再利用希望者の増加につながる大切な要素として評価した。また、調査結果を踏まえた満足度向上については、広報の充実、図書購入など時機を得た対応を評価した。</p>				

管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすことの無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	4(0.8)	4
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3
	管理業務の評価 施設の維持管理は建物総合管理委託により、毎月の休館日を中心に保守点検等を実施し、職員が立ち会いを行い適切に実施した。個人情報保護方針を利用者へ伝えるためにホームページに掲載し、職員については、プライバシーマーク認定制度に則り教育研修等を通じて、個人情報保護に努めた。また、個人情報管理台帳や自己問診チェックリストを本社へ提出し、本社の監査を受け、当該施設勤務者以外の者による確認体制をとった。毎月1回の朝礼時に災害時における避難誘導手順等の確認を行いながら、事故防止や防災に向けた研修と訓練が適切に実施され、全職員が危機管理の基本である情報伝達や避難誘導に関する対応力を身に付けた。また、夜間の防犯対策として、防犯カメラの設置や警察へのパトロール強化の依頼等を行った。以上、年度を通して、適切な管理業務を遂行した。 【評価点4以上(加点)の項目別評価】 人員配置 ：社内研修によりスタッフ全員が館全体の業務に対応できるよう、職員14名中11名が本施設における4年以上の業務経験を有し、総合受付、貸室受付、図書業務等について、利用者サービスの低下を招くことなく効率的・効果的に行った結果、最低賃金見直しによる単価引き上げを行ったにもかかわらず、人件費を抑え、アンケートで示された接客満足度を得たことを評価した。				
事業実施状況	施設利用提供業務	生涯学習振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	生涯学習支援事業	生涯学習支援を図るための学習教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域学習指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	活動団体等との連携事業	地域活動団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか。	5	4(0.8)	4
	市民活動促進業務	市民活動への参加促進に向けて活動団体の情報収集・提供を行うとともに、市民活動に関する相談体制の充実を図っているか。	5	4(0.8)	4
	市民活動支援体制	市民活動支援コーナーの適正利用に向け、利用団体間で意見調整を行い、市民活動支援を図っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	広報活動	施設利用促進及び生涯学習振興を図るための広報活動が成されているか。	5	4(0.8)	4
事業実施の評価 幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に講座、教室、イベントを企画・実施している。また、子育て、健康増進、趣味、教養、料理、地域の歴史など、テーマも多岐に渡り、多くの利用者が参加できる工夫を行った。施設利用提供では、利用率の低かったグループ室について、昨年度から利用率向上に力を入れ、利用件数では前年度比で約30%増とした。また、アリーノ土曜学校を開校(年3回)し、講師に地元の観光ガイドの会の人たちや、アート作家、テレビポーターなどを迎え、地域の歴史や芸術、情報について学び、参加者の交流の場ともなった。 【評価点4以上(加点)の項目別評価】 生涯学習支援事業 ：各種テーマ別の講座など年間63事業を実施した結果、約17,500人の参加者があり、前年度比約13%の増加となったほか、市民活動の強化として地元活動サークル等の育成・支援、施設利用者数の拡大や認知度向上を目指した、各種フェスタ等のイベント開催、及び図書カードの作成促進や図書購入冊数の充実などの事業強化の取組を評価した。 活動団体等との連携事業 ：市民活動ふれあいフェアーを開催し、市民活動団体30グループの活動内容をパネル掲示による紹介とふれあいの場を提供、事業については、おはなし会、人形劇、離乳食幼児食講座、親子体操講座、親子料理教室、寄せ植え教室、パソコン講座及びファミリーコンサートの共催を行ったことを評価した。 市民活動促進業務 ：市民活動支援コーナー運営委員会の事務局としてサポートを行いながら、毎月の運営委員会に出席し利用者の声を伝えるとともに、利用方法変更の提案と改善を進め、地域情報の収集・提供、及び相談体制を充実するなど、市民活動グループへの支援の強化を行ったことを評価した。 自主事業に関する事項 ：年間で44の主催事業を開催、「夏休みこどもフェスタ」、「アリーノフェスタ」については、両方合わせて約4,900人の来場者があった。また、利便性向上としては、市民活動支援として印刷代行サービスを行い、活動団体から好評を得ていることを評価した。 広報活動 ：パンフレットの作成、ホームページの更新、月間アリーノニュース、主催事業スケジュールカレンダーを始めとして、市政だより、タウンニュース、日刊紙等の各種広報媒体を活用した広報活動を積極的に行った。また、地元の有馬、東有馬、野川、野川台の各町内会の協力のもと、回覧板を活用した講座・教室の情報提供を行った。このほか、新しくできたマンションへのポスティングを行うなど、きめ細かい広報活動に取り組んだことを評価した。					
収支状況	収支計画	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	適切な金銭管理・会計手続き	収入と預かり金等を区別した管理を行うとともに、事業収支に関して適正な会計処理が行われているか。	5	3(0.6)	3
	収支の評価 有料貸室利用率の向上、講座・教室の事業数の拡充、利用者への広報活動の工夫に努めた結果、5年連続の増収による安定した収入状況となった。支出では、計画に対し若干の増減はありながらも適正に執行された。また、図書購入では、利用者からの要望を受け、年間購入冊数300冊以上の基準に対し1,074冊を購入したほか、利用者サービスの向上が図られたことは評価できる。 本社の経理マニュアルに則り、出納責任者、出納担当者を任命し、責任の所在を明確にして管理を行った。また、本社の品質管理方法として、内部監査によるセルフモニタリングシステム(ASSSM)を年2回(点検項目：1回目30項目、2回目120項目)の内部監査により実施した。更に、本社経理担当者との連携による二重の点検を実施することにより、適正な会計処理が行われたと判断する。 【評価点4以上(加点)の項目別評価】 効率性 ：職員とアルバイトスタッフの連携強化による業務効率の向上や、購入物品の精査、小まめな空調温度調節と日々の利用者への節電・節水の呼び掛けによる事務経費、光熱水費削減の取組のほか、LED照明器具への一部更新などサービスの維持・向上に留意した、効果的で効率的な予算執行を評価した。				

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>施設の設置目的である市民の主体的な学習活動の支援と、生涯学習の振興・支援、活力に満ちた地域社会の構築に寄与する」といった役割を十分に理解し、地域の特性や利用者の需要を把握しながら、多彩な講座・教室・イベントを開催することにより、事業数・事業内容が年々拡充され、参加者数も増加している。また、アリーノで開催される夏休み子どもフェスタなどの大型イベントに参加した市民から、その後新たに講座・教室への参加や図書室を継続利用するようになった人たちもいるなど、利用者の増加や利用率の向上につながったことは高く評価できる。併せて、主催・共催事業が、平成24年度の45事業から平成28年度に63事業へ増加して来たことも高く評価できる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>有馬・野川生涯学習支援施設は、幼児から高齢者まで誰もが気軽に来館し学べる場として、市民に愛され、楽しみ、親しまれる情報発信の拠点であり、柔軟な施設運営により、効果的な事業を行う必要がある。そのためには、多様化する市民ニーズへ迅速・的確に対応することを目的に、民間のノウハウを十分に活用し、継続的に地域における生涯学習の拠点として事業運営を行う必要がある。併せて、積極的な地域課題の発見や取組について、例えば現在、実施場所の提供・協力を行っている、中学生を対象とした学習支援事業や、自主事業として行う「こども食堂」など、生涯学習支援とは異なる観点による協力、支援を行うことも、地域貢献や市民要望に応えることにつながり、今後もこれらを積極的に実施してほしい。</p>
--